



平成24年度総会資料



と き 平成24年6月25日(月)13時

ところ 松阪市橋西地区市民センター大会議室
松阪市川井町772-10

三重の畜産女性の会 サン・カラット

所在地 津市桜橋1丁目649番地
農業共済会館 (社)三重県畜産協会内

平成 23 年度事業報告

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、被災された方々は言うに及ばず、多くの日本国民にとって大きな転機となり変化をもたらしました。

テレビから流れる被災地の町並みは、瓦礫が片づけられ道路には車が走り、復興への道を辿っているようすも伺えますが、行き場のない瓦礫が山積みになっていることも現状であり、また、目には見えない痛手を負った方々の心労や将来への不安はその心中を計り知れないところです。

サン・カラットと同様に畜産仲間が集う全国畜産縦断いきいきネットワークの大会で、こういった惨状を聞く機会がありました。「なにか、できることはないだろうか。」というサン・カラット会員の想いが「物資の支援」という形で実を結びました。

会の発足当初から、「畜種を越えて」ということをひとつの目標あるいはテーマとしてきましたが、この活動ではさらに大きなものを越えたと言ってもよいのではないのでしょうか。研修会や調理教室、会員誌の発行といったように普段の会の活動は、決して特異なものではありませんが、いつの間にかサン・カラットの仲間意識が築かれていたのだと感じています。

1 総会

- ・とき：平成 23 年 6 月 21 日（火）
- ・ところ：ウエストパーク松阪（松阪市伊勢寺町）
- ・出席者数：総数 41 名（うち会員 22 名）
- ・協議内容：平成 22 年度事業実績の報告、平成 23 年度事業計画の提案



小林代表世話人からは、前年度発生した口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、東日本大震災について触れ、「心を痛めている。それぞれの場面で物資による支援も求められているが、仲間からの温かい声が励みになる。これからも支え合える仲間でありたい。」と挨拶しました。

来賓としてご出席いただいた三重県農水商工部農畜産室中村副室長様から、ご祝辞をいただきました。

また、会計担当世話人として竹内友子さん（多気町、肉用牛）に就任いただきました。

2 研修会等の開催・参加

1) 研修会

- ・テーマ：家畜防疫
- ・とき：（総会終了後）
- ・ところ：（総会会場と同じ）
- ・朗読劇：平成 22 年 12 月に開催された「全国畜産縦断いきいきネットワーク大会」の席で、宮崎県の肉



用牛農家小守敏子さんからお聞きした口蹄疫被害のお話をサン・カラット会員の平塚さんが脚色し、会員が朗読劇として演じました。

《配役等》(敬称略) 小守敏子役：竹内友子

その夫役：山下恵美子

息子役：窪田悦子

家保職員役：荒木田洋子

ナレーション：小林陽子

脚本：平塚恵子

- ・講演：株式会社南勢養鶏萩原社長から、「何が起きたのか、そしてどうすればいいのか。」という演題で自社で発生してしまった高病原性鳥インフルエンザの一部始終についてお話を聞かせていただきました。



- ・情報提供：紀州家保職員でもあり、当会員でもある鶴野智美さんから鳥インフルエンザについて、移動制限等の情報をいただきました。

2) 漁協・酪農・畜産・JA女性部交流会への参加



・とき：平成 23 年 9 月 6 日 (火)

・ところ：三重県総合文化センター (津市)

・出席者数：総数 140 名 (うちサン・カラット会員 11 名)

《講演》

日本テレビ系列で放映された「高校生レストラン」のモデルとなった多気町の「まちの宝創造特命監」の岸川政之さん

から、同町の町おこしについてお話を聞かせていただきました。

《2 分間スピーチ》

交流会へ参加している各団体の代表が、日頃の想いや経営のこと、家族のことなどについて、2 分間に取りまとめてスピーチに臨みました。サン・カラットからは渡辺節子さん (鈴鹿市：酪農)、小林陽子さん (亀山市：養豚) のお二人に登壇いただきました。



3) 第 24 回農山漁村のつどいへの参加



・とき：平成 24 年 2 月 22 日 (水)

・ところ：三重県総合文化センター (津市)

・出席者数：総数 150 名 (うちサン・カラット会員 13 名)

《講演》

地域づくりや農業に女性が積極的に参画してきた福島県飯館村の元飯館村農業委員会会長の佐野ハツノさんから「私のムラづくり実践 ～飯館村からの報告～」と題した

講演をお聞きしました。

《分科会》

午後は今回のテーマ「農山漁村の力・再発見」の下に「地域の活性化」「自身の経

営」「グループ活動」を題材とした分科会が開催され、少人数のグループでそれぞれの意見で話し合いの時間が設けられました。



3) 仲間づくり交流会（調理研修会）

- ・とき：平成 24 年 3 月 13 日（火）
- ・ところ：ウエストパーク松阪（松阪市）
- ・出席者数：総数 19 名（うちサン・カラット会員 14 名）
- ※この交流会は、三重県畜産協会の畜産関係団体調整機能強化事業の一環として開催されました。

この料理教室では、畜産物を主な材料としたレシピを会員からご提案いただき、会員同士が「教え、教えられる」立場で開催しました。

提案されたレシピは次のとおりです。

- ・トマトとチキンのバラ色シチュー（牛乳・乳製品、鶏肉）
- ・お肉たっぷりミートパイ（牛肉）
- ・大根ごはん（豚肉）
- ・キムチ釜飯（豚肉）
- ・カステラ（鶏卵）



3 会員間の情報交換、活動内容の広報等

1) 会員誌の発行

①サン・カラット通信第 14 号（平成 23 年 7 月発行）

- ・ウエストパーク松阪で総会・研修会を開催
- ・総会・研修会へ参加した会員からの寄稿
川北淳子さん（鈴鹿市、採卵鶏）、肩野淳子さん（岐阜県、養豚）
- ・新会員のご紹介
西村加奈子さん（大台町、肉用牛）
- ・寄稿 松本しのぶさん（多気町、肉用牛）
- ・特集「その後 ～新婚さんいらっしゃいで紹介した新婚さんのその後～」
片岡真依子さん（多気町、養鶏）、藤田若枝（北勢家保）
- ・ニュース 大紀町に牛乳パックのモニュメント

②サン・カラット通信第 15 号（平成 23 年 11 月発行）

- ・漁協・酪農・畜産・JA 女性部交流会に参加
- ・三重県獣医師会シンポジウムに会員の竹内さんがパネラーとして参加



- ・全国畜産縦断いきいきネットワーク大会に参加
- ・同大会へ参加した感想を寄稿
堀川ゆかりさん（四日市市、協和通商）、
松葉里美さん（いなべ市、養豚）、
小林陽子さん（亀山市、養豚）

『第15号 号外』

- ・会員さんの嬉しいご報告（浅井麻実子さん、ご結婚）
- ・会員Hさんの近況（超、多忙中）
- ・福島県の鶴沼さん（肉用牛）への支援について

③サン・カラット通信第16号（平成24年3月発行）

- ・うれしいお知らせ
結婚のご報告：前川（浅井）麻実子さん（農畜産室）
女の子ご誕生：山下晃美さん（松阪市、養鶏）
- ・第24回農山漁村のつどいに参加
- ・調理研修会を開催



2) 事務局通信の発行

①事務局通信（平成23年9月）

- ・全国畜産縦断いきいきネットワーク大会開催のご案内

3) ホームページからの情報発信

三重県畜産協会のホームページ「三重の畜産広場」内のサン・カラットのサイトでは、会の紹介、会員募集、トピックス等の活動状況を広報しました。

サン・カラット URL <http://mie.lin.gr.jp/san/>



4 その他、会の運営等に関する活動

1) 世話人会の開催

- ・とき：平成 23 年 5 月 17 日（火）
- ・ところ：三重県健保会館（津市）
- ・出席者：サン・カラット世話人
- ・協議内容：平成 22 年度実績、平成 23 年度活動計画等

※この会議は、三重県畜産協会の畜産関係団体調整機能強化事業の一環として開催されました。

2) 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会への参加

- ・とき：平成 23 年 10 月 26 日（水）
- ・ところ：中野サンプラザ（東京都中野区）
- ・出席者：107 名（三重県から会員 6 名、会員外 1 名、畜産協会 1 名）

『頑張ろう日本！守ろう国産、消費者とともに！！』をスローガンに掲げ、福島第一原発事故に係る放射性物質の勉強や現地から避難せざるを得なくなった畜産生産者（福島県の鶴沼さんら）の訴えをお聞きしました。

また、6 月のサン・カラット研修会で発表した朗読劇を再演しました。



3) 福島第一原発事故に係る支援

上記の大会で現地の惨状や困窮する生産者のようすを知ったことをきっかけにして、当会員の山下さん竹内さんらを中心に上記鶴沼さんらへの支援を募り、現地へ衣料を中心とした物資を贈りました。



5 平成 23 年度収支報告

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 23 年度収支計算書

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
会費	175,000	175,000	0	5,000 円×35 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	20,000	22,000	△2,000	昼食会負担金 1,000 円×22 人
雑収入	150	47	103	預金利息
当期収入合計(A)	195,150	197,047	△1,897	
前期繰越収支差額	209,277	209,277	0	
収入合計(B)	404,427	406,324	△1,897	

2) 支出の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	179,000	95,580	82,420	表外※1 参照
会議費	600	0	600	
会場費	15,000	0	15,000	
旅費交通費	32,000	550	31,450	事務局延べ 1 回
通信運搬費	28,800	13,130	15,670	切手代 10,130 円、電話 FAX3,000 円
消耗品費	6,000	6,000	0	事務消耗品費 6,000 円
賃金	53,900	51,600	2,300	事務局 6 日分
事務諸経費	6,000	0	6,000	
雑費	5,000	0	5,000	
当期支出合計(C)	326,300	166,860	159,440	
当期収支差額 (A)-(C)	△131,150	30,187	△161,337	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	78,127	239,464	△161,337	

※1 特別事業費 (95,580 円) の内訳

旅費 3,500 円 講師旅費 (6.21)
 会議費 60,400 円 総会時昼食会 48,300 円、総会・研修会 4,300 円
 農山漁村のつどい弁当代 7,800 円
 会場費 10,000 円 総会・研修会会場費
 負担金 28,824 円 JA 女性部交流会 28,824 円
 その他① 3,000 円 講師お礼
 その他②△10,144 円 平成 22 年度機能強化事業費負担
 ※参照：畜産協会事業「畜産関係団体調整機能強化事業」からの支援
 会議旅費等 8,360 円
 交流会（調理教室）開催費 23,663 円
 会員誌作成・送付費 25,000 円



三重の畜産女性の会サン・カラット規約第 14 条により上記のとおりご報告します。



平成 24 年度事業計画（案）

この1年間は、東日本大震災の惨禍から復旧、復興に向けてスタートする年となりました。すでに疲弊していた日本経済は更に窮地に追い込まれています。

畜産業界にとっても飼料費の高止まりや消費の低迷が、個々の経営に大きな影を落としています。生産現場では、口蹄疫こそその後の発生はみられず、一段落したようですが、高病原性鳥インフルエンザは、近隣国では、相変わらず発生が止まりません。

このような状況の中では、危機感を持ちながらも理想や希望を胸に経営に立ち向かうことが大切ではないでしょうか。

サン・カラット活動の中では、直接、皆さんの経営にサービスを提供することはできませんが、何物にも代えがたい畜産仲間として共に歩み、励まし合うことができると信じています。

今年度も以下に提案する活動を柱としていきたいと思いますが、会員の皆さんからの積極的で幅広いご意見やご要望を寄せていただくことをお願いします。



1 研修、会員相互の交流等の活動

畜産業界でも次々と解決していかなければならない事態が発生します。昨日と同じ今日、明日ではありません。生産現場から求められるもの、消費者から求められるものなど、日々の経済活動の中で求められる事柄は多岐にわたっています。

私たち畜産に携わる女性も幅広く高度な知識や技術を身に付けていくことが求められます。サン・カラット活動の中で、仲間と共にスキルアップを図りましょう。

同じような思いを胸にする仲間は、県内だけでなく全国にもたくさんいます。サン・カラットと同じ主旨で活動続ける「全国畜産縦断いきいきネットワーク」や県内の畜産以外の場で活躍する仲間とも交流の輪を広げたいと思います。

1) 総会・研修会

とき：平成 24 年 6 月 25 日（月）（同日開催）

ところ：松阪市橋西地区市民センター大会議室（松阪市川井町）

内容：①総会

平成 23 年度事業実績の報告、平成 24 年度事業計画の提案

②講演

演題「原発から避難して」

お話 鵜沼久江さん（福島県双葉町、現在、埼玉県在住）

2) 漁協・酪農・畜産・JA女性部交流会

とき：平成24年9月19日（水）

ところ：三重県総合文化センター多目的ホール他

内容：①国際共同組合年の紹介（ビデオ）

②生活協同組合の営業サイドから生産現場への提言（講演）

③2分間スピーチ

④認知症講座（サポーター養成）

⑤即売会



3) 農山漁村のつどい

4) 交流会（料理講習会）

2 情報発信・情報交換による交流

年度の活動計画を立て、ひとりでも多くの会員の皆さんに参加いただき相互の親交を深めていけることが理想的ですが、なかなか難しいのが実情です。

そこで、会員誌の発行やホームページからの情報発信でこの部分を補おうと努めています。

1) 会員誌の発行

会の活動状況が中心となりますが、日頃の会員の皆さんのようすやお考えを伝える手段として、会員誌「サン・カラット通信」を年4回発行する予定です。

平成23年度の会員誌は、会員の皆様からの寄稿をいただき、これまでに増して豊かな内容であったと思います。

今後も会員の皆さんには、積極的なご参加（投稿等）によるご協力をお願いします。

2) ホームページによる情報発信



会員誌と重複する内容になる部分も多々あると思われませんが、ホームページの特徴を活かした情報発信の場とするとともに、会員以外への情報発信という役割を持たせてサン・カラットの活動情報等を発信していきます。

インターネットホームページ「三重の畜産広場」の一角に「サン・カラット」のコーナーを設け、ここで情報発信を行っていきます。

3) その他の情報提供

サン・カラット会員の皆さんの活躍場面を「通信」やファックスまたはメールにより、随時情報提供します。

事務局へ気軽に情報をお寄せ下さい。

※例：「テレビに出ます！」「〇〇誌で紹介されました！」「商品を新発売！」・・・



3 畜産物の消費拡大へ向けての活動

慢性的とも言える景気低迷により消費者の購買意欲も振るわず、多くの分野で海外からの安価な商品やサービスを支持する傾向が感じられます。

畜産生産者は国民に良質な食料を供給する責務を負い、これに応えてきました。再度、国産の重要性をアピールし、消費拡大に向けて努力していく必要性があります。

このような場面に臨み、消費者の皆さんに積極的な働きかけをすることが畜産を担う女性ならではの役割です。

そのためには、まず私たちが畜産や畜産物についてもっと学び、正しい知識を提供しながら消費者の皆さんに畜産や畜産物への理解を深めていきたいと思えます。

4 その他会の運営に必要な活動

世話人会では、一人でも多くの会員の皆さんに参加していただけるように活動内容を検討し展開しています。

この会をさらに魅力あるものにしていくには皆さんからの提案がとても大切なものだと思います。ぜひ、皆さんの声をお聞かせ下さい。

また、全国各地には私たちサン・カラットと同じような目的をもって活動している畜産女性組織があったり、全国規模の組織として「全国畜産縦断いきいきネットワーク」が熱い想いを結集して活動しています。

一歩、二歩、積極的に踏み出してみましよう。

さらに、この輪を広げるために一緒に歩いていける仲間を増やしていきましょう。

三重の畜産女性の会



サン・カラットへのお誘い



三重の畜産を支える女性の皆さんが交流できるグループを作りたいと思えます。一人ひとりの小さな力もたくさん集まれば、それはひとつの大きな力になるでしょう。なにか、新しい芽を皆で育ててみませんか。

- 1 会員相互の交流を深めましょう。情報の交換も積極的に！
- 2 経営向上のために研修の機会をもちましょう。
- 3 消費者の皆さんに畜産や畜産物についての理解を深めてもらいましょう。
- 4 将来の経営のためにいろいろな課題について語り合しましょう。
- 5 会員の意見による活動を進めましょう

・・・他にも取り組みたい活動イロイロ！

皆でまず一歩！これがスタートです。



5 平成 24 年度収支予算

三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 24 年度収支予算（案）

（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

1) 収入の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
会費	175,000	175,000	0	会費 5,000 円×35 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	30,000	20,000	10,000	参加費 1,000 円×20 人×1 回 材料費負担 500 円×20 人×1 回
雑収入	50	150	△100	預金利息
当期収入合計(A)	205,050	195,150	9,900	
前期繰越収支差額	239,464	209,277	30,187	
収入合計(B)	444,514	404,427	40,087	

*サン・カラット会員の年会費は 5,000 円とする。納入は 7 月末日までをお願いします。

振込先 銀行名 三重県信用農業協同組合連合会本店
 口座名義 三重の畜産女性の会
 口座種別 普通預金 口座番号 0003584

2) 支出の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	214,500	179,000	35,500	表下※1 参照
会議費	600	600	0	100 円×6 人×1 回
会場費	4,000	15,000	△11,000	4,000 円×1 回（総会、研修会）
旅費交通費	26,000	32,000	△6,000	3,000 円×4 回、3,500×4 人
通信運搬費	28,800	28,800	0	90 円×35 人×8 回、300 円×12 ヶ月
消耗品費	6,000	6,000	0	500 円×12 ヶ月
印刷製本費	10,000		10,000	コピー利用料
賃金	51,600	53,900	△2,300	8,600 円×6 日
事務諸経費	6,000	6,000	0	500 円×12 ヶ月
雑費	5,000	5,000	0	その他雑費 5,000 円
当期支出合計(C)	352,500	326,300	26,200	
当期収支差額 (A)-(C)	△147,450	△131,150	△16,300	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	92,014	78,127	13,887	

※1 参照（特別事業費）

会議費	108,500	2,000 円×20 人×1 回 3,500 円×15 人×1 回 800 円×15 人×1 回 100 円×40 人×1 回	謝金 印刷製本費 通信運搬費 材料費	18,000 6,000 14,000 20,000	18,000 円×1 回 2,000 円×3 回(コピー) 80 円×35 人×5 回 20,000 円×1 回(食材)
会場費	18,000	8,000 円、10,000 円			
旅費	30,000	30,000 円×1 回			

